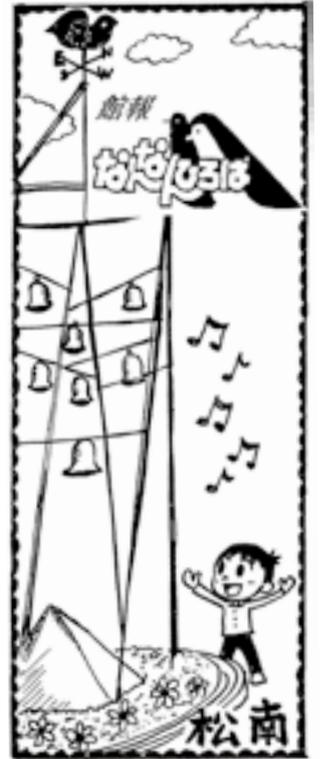


松本市立考古博物館  
出川西遺跡・平田里古墳での出土品が展示場のメインを飾り、その質量に圧倒されました。

7月31日(日)、公民館長会と館報編集委員会は、地域学習会の一環として研修旅行を挙行いたしました。

コロナ感染レベルも再度上がる中でしたが、「行動規制はしない」との県と市の指針を受け、人数も限定、バス内の換気に気をつけ、新しいウィズコロナ対策での活動でした。



松南地区には誇れる建造物、シンボルとなる寺社の一つもなくとも残念な地域ですが、展示品を見せつけられると、何と、松本でも一番の土地ではないか、私は益々意を強くし、これらをアピール

松本城内にあった裁判所の移築は完全なもので、よくぞ残してくれました。松本の財

活動にしたい、そしてどう表現していくかその重さを痛感しました。私の考えていることは、地区60周年を迎え二つほどあります。今後皆さんにご相談申し上げつつ進められればと思います。幸い考古館館長が私の旧知の人物で、プランには全力で協力してくれる確約もいただきました。



▲出川西遺跡一括出土土器 (出土時の再現)

松本市文書館  
残念ながら松南地区に関する講座は聴けませんでしたが、改めて小松芳郎先生を失った大きさを感しました。偉大な方を早々と失った松本、誰が穴を埋めてくれるのでしょうか。

松本市文書館  
以上、考古博物館を除いては直接松南地区には関係ありませんでしたが、松本の一部を知るきっかけには良い研修でした。縁あってこの地に生まれ育ち、この地の土となる私です。もっともこの地を知り、一緒に学びましょう。これが「松南地区地域学習会」です。



▲絵図「松本村」を見る

産ここにありと誇れるもの。女工哀史の形跡を辿ること。もでき、過酷な労働の現実を目の当たりにしました。

松本市文書館  
明治期の裁判を体験



▲明治期の裁判を体験

信明中学校 地域出前講座(7月5日・7日・14日)

今年も地域の方々が中学校に「出前授業」をしました。スポーツ系、調理系、創作系の6講座で、学年ごとに2時間分を当て、目新しい授業を楽しみました。

人気のポッチャではルールと要領を飲み込むと接戦を展開し、ワンバウンドふらばーるバレーでも変形ボールの扱いに戸惑いながら大笑いして汗を流しました。七夕饅頭など伝統の軽食を楽しむ講座、竹を削って不思議な「振動風車」を創作する講座、マスキングテープなどでオンリーワンの小物を創作する講座、感性を開放した抽象画講座など新鮮で、生徒の満足度は本当に高かったです。

住民との交流の側面もあり、顔見知りの講師の方と語り、いきいきと活動する年配者の姿に感心する生徒もいました。



●キンボールを楽しむ



●ポッチャ、接戦に!



●「振動風車」に挑戦!



●オリジナルアルバムづくり

# コロナ「第7波」と夏祭り

コロナも3年目、治療薬には至らぬもののワクチン接種も定着するなど対応力も向上しました。また「第7波」の急拡大には驚くものの重症化は少ないという中で、行政も行動制限は求めないという「ウィズコロナ」方針がとられていきます。そんな中、地区の夏祭りも苦悩しています。



●「地区のお宝」中学校吹奏楽

行事「青山様・ぼんぼん」も実施に向け検討してきましたが、感染の急拡大を前に、南松本1・2丁目のみの実施でした。少子化の中、神輿の担ぎ手も急減し、行事そのもの



●南松本1丁目町会の青山様・ぼんぼん (今年度)

の存続が問われています。また未来まつりの神輿巡行も縮小しました。

「なんなんフェスタ」。地区住民が交流する唯一の祭りとして30回を数えます。町会連合会では地域をつなぐ貴重な機会として、感染対策の強化はむろん、時間短縮・内容の精選により9月3日に実施。予想外に盛況でした。

また、「社協祭り・ひろば祭り」も順延。祭りも事実上一本化し、福祉交流の機会として、秋の実施を模索中です。「中止は楽だが、3年目ともなると失うものも大きい。慎重かつ挑戦する姿勢を地域で共有したい。」との関係者の声が耳に残ります。

## ▼松南地区夏季球技大会 (7月3日)



ふれあい健康教室▲  
7月：アルプスびのマンダリーノの演奏  
8月：腹話術に大笑いの交通安全教室

## 夏の記憶



なんなんひろば・夏の文化祭▲

▲なんなん七夕飾り (平和の祈りも)

▲花先生・体操教室

▲子ども育成会 (ふれあい体験会) 色のマジック「カラーボトル」制作

▲親子料理教室

昭和42年10月31日に吉田茂元首相の国葬が営まれた。学生だった私はその日のことを何も覚えていない。大学が休校だったか記憶もない▼昭和42年は学生運動、10・11月の羽田闘争、世界的にベトナム反戦運動が広がり、中国では文化大革命。国葬の是非を論じる学生はいなかった▼吉田茂首相は昭和26年9月8日にサンフランシスコ講和条約・日米安全保障条約に署名▼9月27日は安倍晋三元首相の国葬。葬儀はすでに7月12日に増上寺で執り行われた。国葬を閣議決定した岸田首相は、国民に十分な説明をしていない▼安倍首相の国会軽視の政治姿勢。予算委員会での質問者へのヤジ▼平成27年9月19日未明に集団的自衛権行使を容認する安全保障関連法が成立。平成26年7月に閣議決定し、安保法導入の環境を整えていた▼全国世論調査では国葬に反対の意見が半数を超えている▼安倍元首相は参議院選挙応援演説中に元自衛官に銃撃された。国葬を営む程の要人警護に問題はなかったのか。(塩原保彦)

# コラム松南